様式 2

青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE）報告会の実施について

参加者名　　：　Alina Reva

派遣元加盟都市（国）：　ユジノサハリンスク（ロシア）

行事名	ヒロシマとナガサキの原子爆弾投下に関する大学生への報告
実施日	2017 年 12 月 13 日
実施場所	大学の教室
対象者 (属性･年齢等)	英語教授法を専攻する 19 才から 21 才の学生
参加者数	約 12 名
報告会の概要等	1. 導入。日本について二言、三言ならびに、原子爆弾投下についての仮定的推論 2. マンハッタン計画、ヒロシマとナガサキへの原子爆弾投下、核兵器の開発 3. 被爆者の方々の経験 4. 平和記念式典の目的 5. 核兵器廃絶に関するこれまでの見解と、人々が直面し得る障害 6. 結論 7. 学生からの質問ならびに意見の発表 この小さな会合の目的は、核兵器とは何なのか、核兵器がどれほど恐ろしいものか、平和を構築するとはどういうことなのかをクラスメートに説明することでした。クラスメートたちの反応はみな前向きなもので、理解してくれていることが彼らの目から実感できました。今後は、自分のレポートをさらに広げ、サハリン国立総合大学で 4 月に行われる会議において、平和構築の理論のいくつかについて正当性を訴えるつもりです。
その他 （参考となる URL 等を記載のこと。）	このレポートを書いている間、私は以下を使用しました。 1) 講義の際にいただいた資料 2) 広島市長のスピーチ原稿 3) 平和宣言 4) 広島平和記念資料館でとった写真 5) http://www.history.com/topics/world-war-ii/bombing-of-hiroshima-and-nagasaki

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局
E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

English Vowels

English Vowels